

(4) 第7回福智町地域公共交通会議

日 時：令和3年3月24日（水）13:30～14:30

場 所：福智町役場 3階会議室

出席者：20名（敬称略）

所 属	氏 名	出欠
福智町 副町長	会長 森 美津雄	
西鉄バス筑豊株式会社 田川支社 支社長	田口 勝啓	
田川構内自動車 株式会社 執行役員	中山 隆博	
有限会社プラス観光 代表取締役	石山 吏生	
福智町行政区長会 会長	仲村 正則	
福智町行政区長会 副会長	青木 等	
福智町行政区長会 書記	永末 信一	
福智町PTA連絡協議会 会長	永末 太	
九州運輸局福岡運輸支局 支局長	原 数政 (代理) 安永 順子	
福岡県筑豊地区タクシー協会 会長	嘉久 礼子	
西鉄グループバス労働組合 書記長	加賀 利広	
公立大学法人福岡県立大学 人間社会学部准教授	美谷 薫	
福岡県田川県土整備事務所用地課 管理係長	肘井 真一	
福岡県田川警察署交通課 交通総務係長	田中 一実	
福智町社会福祉協議会 事務局長	中野 雅浩	
福智町 総務課長	吉田 憲治	
福智町 保健課長	木村 貴代美	
福智町立図書館 ふくちのち 館長	井上 憲治	
福岡県企画・地域振興部 交通政策課 交通総務係長	河野 健之	
上野焼協同組合 理事長	高鶴 享一	

【議事内容】

- 1 開会および会長挨拶
- 2 西鉄バス（金田・方城線）路線廃止に関する
書面協議結果
- 3 議題
 - (1) 福智町地域公共交通計画（素案）について
 - (2) 計画（素案）への意見募集について
 - (3) 今後の予定



【質疑応答】

< 1. 開会および会長挨拶 >（森会長）

< 2. 西鉄バス（金田・方城線）路線廃止に関する書面協議結果 >（事務局）

■事務局より報告

< 3. 議題 >

（1）福智町地域公共交通計画（素案）について

■森会長：事務局説明を受けて何か意見はあるか。

⇒中野委員：うまくいけばいい計画になると感じている。ただ、課題は多いと考えている。特に福祉バスの有償化及び予約型デマンド運行の導入にあたり、有償化については 8 割超と賛同する意見が多いが、予約型デマンド運行については反対が過半数のアンケート結果が出ている。そのため、予約型デマンド運行については今後内容を精査し、実証運行で検証を行うなど、本格運行への可否を判断する取り組みとすることが望ましい。

⇒事務局：まず、今回のアンケート調査では、限られた社内での説明時間であったためデマンドについての十分な説明が行き届いていなかったという反省点は感じている。今後、高齢者の利用が主となるため丁寧な説明に努めていきたい。また、各種事業者からのご意見をいただくなかで、実証運行の必要性は感じている。そういった積み重ねにより、利用者及び町内の皆様のご理解をいただけるよう取組みを進めていきたい。

■安永委員：素案について、誤字等の記載内容のご確認をお願いしたい。

⇒事務局：適宜修正し、改めてご提示させていただきたい。

■井上委員：予約型デマンド運行について、利用者に対し説明の機会を設けるということであるが具体的にはどのように考えているのか。

⇒事務局：広報紙やホームページ、チラシ、ポスター等での周知を考えている。また、地域説明会については、旧町体ブロック単位での説明を想定している。各地域でのご要望についても柔軟に対応し、現地での直接の説明に努めていきたい。

■河野委員：本計画の目標 1 の「施策 1-①：福祉バスの利便性向上を基本とする町内移動の維持」と目標 2 の「施策 2-①：小規模需要に対応する AI 活用のデマンド運行による運行効率化」とあるが、利便性向上のために福祉バスに AI 活用によるデマンドサービスを導入するということなのか、それとも別のものをを用いるということなのか。

⇒事務局：運行方式については、予約型デマンド運行サービスとし、なおかつ予約に対する配車及び運行経路設定については、AI システムを導入した形を目指していく。

⇒河野委員：利便性向上のために AI デマンドを導入するということであるが、事業の具体

化に向けての配慮事項として、福祉バスの有償化、AI デマンド導入に向けた関係者から挙げられている意見がいくつか示されている。本計画の記載内容だと、利用者にとってのAI デマンド導入の必要性について読み取りにくい印象を受けた。予約受付についても、必ずしもスマホだけに限らず、電話での受付もできるというような利用者に対して適切な方法を検討していく必要がある。

⇒事務局：AI 導入については、どちらかという利用者よりも運行者側に活用していただきたいと考えている。高齢者の利用が多いため、スマホ等での予約は難しいことが想定される。当面は、電話での予約受付とし、かつAI 活用により運転手に適切な経路を提示するというシステムを主軸にしたいと考えている。また、オペレーターの対応力も重要視している。デジタル強者・弱者の双方に向けた対応を図っていく。

(2) 計画（素案）への意見募集について

■森会長：説明を受けて何か意見はあるか。

⇒意見なし

(3) 今後の予定

■森会長：説明を受けて何か意見はあるか。

⇒意見なし

以上